

令和4年第1回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年1月20日(木)

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘教育総務課長、吉野博美課長補佐、山家一博学校教育専門監

5 開 会 午後2時

6 令和3年第12回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告について

報告第1号 令和4年度教育関係予算要求の状況について

舟 山 委 員	古文書解読講座の対象はどのようになるのか。
生涯学習課長補佐	大人の希望者を対象に予定している。
一 盃 森 委 員	新規に大人の部の短歌は、現在ブームなのでよい。古文書も地元のを掘り起こすことは、良い取組。参加定員は何人くらいか考えているのか。
生涯学習課長補佐	10人程度を考えている。
丹 羽 委 員	古文書の資料は何を利用するのか。
生涯学習課長補佐	民俗資料収蔵室にも残っているが、何を利用するかはまだ決めてはいない。
丹 羽 委 員	お寺には古い古文書がある。一度調べてもらって利用してもらったらよいのではないか。仏像の中にも何かある場合がある。大河原の文化財を紛失しないように、有効に利用して欲しい。専門家に見て欲しい。
小 山 委 員	大人の部の短歌は高校生から参加できると良い。土曜子供塾の人数などはどうか。学ぶ楽しさを味わってもらいたい。
生涯学習課長補佐	公民館が主催となって計画をしている、詳細はこれから。
鈴木教育長	小4から中2までのアンケートの結果によると、中央公民館は70名くらい、金ヶ瀬公民館は20名くらい希望があった。すべて可能かどうか検討していく。塾に通っていない子を対象としたいが、通っている子も希望していた。経済格

	差と言われているので、小山委員から提言もあった困窮世帯の子供の希望進路実現の取組となる。
一 盃 森 委 員	昨年、学校で先生と懇談をしたが、その中で、児童生徒の机椅子が古いので、どうかして欲しいといといわれたことが印象的だった。せっかくの機会をもったのだから、少しでも反映させていくことはできないか。その部分はどのよになったのか。
教育総務課長	大河原小学校は1クラス増えたのでその分は予算化した。毎年各校予算化しているが、すべて交換は難しいので、現在は、一部交換の予算化となっている。
一 盃 森 委 員	反映させたほうが、会の意義もあるのではないか。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

(2) 専決事務報告

なし

8 議 事

なし

9 その他

教育長報告

1 「宇宙で求められる力はこれからの子どもたちにも」(山崎直子)

子供達へのメッセージ。将来学校でならったことを直接は使わなくても様々な問題解決の土台となる。失敗から学ぶことが大切。生活の中で失敗を克服するなかで身につく。

相手に伝えるときは、言語化にする必要がある。しっかりとコミュニケーションをとることが必要。

2 交通安全(「編集手帳」読売)

徳島県での小学生の死亡事故は歩行者の信号も青、車も青だった。想像力の焦点がずれていたのではないか。もう少し想像力を働かせれば防げたのではないか。大河原町の歩車分離式では、車の待ち時間の長さ等の話が出ている。歩車分離式信号は歩行者の命を守るものなので、待ち時間の調整は必要だが、目に危険が見えなくなるような工夫だと思う。教員も意識をもって安全運転をして欲しい。

3 「USJを劇的に変えた1つの考え方」(森岡毅)

日本の企業は、昔は技術力で勝ったが、今はマーケティング力がないと企業は生き残ることができない。教員の仕事に例えると、技術力は授業力。マーケティング力は教材研究や子供理解。授業技術だけではいい授業にはならない、子供を成長させることができない

い。教材の研究をしたり、子供を理解したりすることが必要。先生も戦略は人である。

4 学力向上

(1) 「教科調査官が語るこれからの授業 小学校」(笠井健一)

算数指導の基礎になるので、若い先生にも読んで欲しい。

(2) 算数科における一人一台端末等の効果的な活用について(笠井健一)

プログラミング教育を校長先生にミニ研修としてやってもらった。短時間でできることを積み上げることが大切。各学校でもやって欲しい。

(3) 秋田県式「授業の達人」10の心得(教育技術MOOK)

秋田県では誤答や躓きを生かした授業を大切にしているが、これが対話的な学び。

(4) 大河原町の子どもの学力を一層向上させるために

ダイヤモンドオンラインの中で秋田県の阿部先生が書いていたもの。秋田県では、対話的な学びができています。大河原町では、まあまあできています。記述式の問題。秋田県はポイントが高い。大河原町では低い。弱点は記述式。今後、短作文の授業や、過去問でやっていかないと難しい。

5 不登校対策

(1) 「不登校になりがちな子どもに」(石井順二)

いろんな要素を持った子供がいる。不登校傾向の生徒に寄り添うことが最適だった。

(2) 『不登校児童生徒への支援の在り方』(文科省)

学校に登校するという結果のみを追うことなく、社会的に自立することを目指す必要がある。温かく見守る、長期的な視点で、生活をコントロールする力を身につけさせたり、少し勉強してことを褒めてあげたりして自己肯定感を高めることが必要。

6 年度末・年度始めのリスク・マネジメント

引継ぎの際の脆弱化。個人情報管理、入試事務等。

7 その他(各校の写真による記録)

(1) 大河原南小おやじの会主催「防災デイキャンプ」コミュニティスクールの優良事例に

なるのではないかと。被災した時どうするか体験。

(2) 大河原小と・上海・紫竹小とのオンライン交流

(3) 金ヶ瀬小「ソフトバンクによるリサイクルの授業」

(4) 大河原小第二学期終業式

(5) 職員表彰(優秀:星事務長、優良:佐藤泉主幹、佐藤浩教諭)

丹羽委員	宝物は、自分の足元にある。不登校児童の子にも自分は宝物だよと思って欲しい。お寺のマーケティングは何かと考えた。町のマーケティングも考えて欲しい。
舟山委員	記述式について。最近の子供が絵本のストーリー性があるものを聞くことができない子が増えているように思う。
一盃森委員	これからの子供を考えると、いまの子供は生まれた時から、タブレットがあ

小山委員

る世代と考えていかななくてはいけない。
気づくことが大切がキーワード。子どもが間違った時に先生がなにに気付くかが大切。先生も違いがあると知った上で取り組んで欲しい。
歩車分離の交差点について、どうしてそのようにしたのか、説明して欲しい。コンビニの駐車場の中を通学している子供がいた。
タブレットの学習が増えたら、本を読まなくなったような気がする。YouTubeなど受動的な学習になってしまっている。能動的な学びを忘れないで欲しい。

(2)課長報告

教育総務課長

大河原小学校の公開研究授業について
各小中学校の卒業式・入学式について

生涯学習課課長補佐

民族収蔵室の解体について

学校教育専門監

大河原町児童生徒の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
舟山委員 | 反復横跳びはどの学年も良い。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年2月15日（火）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時05分

令和4年2月15日

署名委員

署名委員